

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時などの事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入や BCP（事業継続計画）策定の助言などの支援も進めます。

- EDI化により、サプライチェーン全体で各種業務の効率化を図ります。
- 部品の発注データに加え、その先の所要予測情報をサプライヤと共有し、計画的な対応への活用を図ります。

### 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく（「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行のは正に積極的に取り組みます。なお、下請取引以外の企業間取引についても、取引上の立場に優越がある企業間での取引の適正化を図るという下期項目の趣旨に留意します。

#### ① 価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申し入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

#### ② 型管理などのコスト負担

型管理に関する覚書を下請事業者と取り交わし、型相当額の一括支払い、不要な型の廃棄の促進、保守用型の保管費の支払い等を実施します。

#### ③ 支払条件

下請代金は、現金で支払います。

#### ④ 知的財産・ノウハウ

片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

#### ⑤ 働き方改革などに伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上で一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

### 3. その他

- ・当社 WEB サイトに「取引に関する基本姿勢」と「CSR 調達方針」を掲載しています。
- ・サプライヤはいずれも当社商品の生産に無くてはならない大切なパートナーです。当社は、サプライヤとともに発展していく協力体制、さらに、そのための信頼関係を築き、国内外から、サプライチェーンに求められる社会的責任や道義的責任を果たすよう努めています。
- ・当社は、サプライチェーンを通じた CSR の推進のため、「サプライヤ行動規範」を定め、当社のすべてのサプライヤに、その実施を要請しています。

以上

2020 年 7 月 29 日

ファンック株式会社

代表取締役社長兼 CEO 兼 CIO

山口 賢治